

青中だより



平成30年4月17日発行

港区立青山中学校

〒107-0061

港区北青山一丁目1番9号

電話 03-3404-7522



校訓「文武両道」「自主自律」生徒目標「真剣な学習」「節度ある行動」

「さわやかなあいさつが飛び交う温かい学校」づくりを目指して

校長 中田 和直

木々もすっかり芽吹き、新緑の葉が茂る季節となり、今年度、港区立青山中学校の平成30年度がスタートいたしました。お子様の進級・ご入学おめでとうございます。

この度、福井正仁校長の後任として、板橋区立志村第二中学校から校長として赴任してまいりました中田和直でございます。どうぞよろしく願いいたします。都心にありながら緑あふれる自然豊かな素晴らしい環境、歴史と伝統ある青山中学校に赴任することができ光栄であるとともに身の引きしまるおもいです。

教員としてのスタートは、世田谷区にある都立青鳥特別支援学校に8年間、その後、板橋区立西台中学校に12年間、同じく板橋区内の上板橋第二中学校で6年間、保健体育科の教員として過ごし、その後副校長として板橋区立志村第二中学校で5年間勤めさせていただきました。

今回、港区立青山中学校に赴任いたしました。港区とは全くと言っていいほどご縁がなく、区の様子や子どもたちの様子がよくわからないのが本当のところ。ただ幼少のころは渋谷区に在住しており幼稚園、小学校、中学校と渋谷区で過ごし、小学校の頃は明治神宮外苑スケート場や子どもの城によく遊びに行き身近に感じる地域ではあります。

さて、先日の始業式では2年生、3年生の皆さんに青山中学校の先輩として三つお願いしました。一つは「尊敬される先輩になってほしい」二つ目に「信頼される先輩になってほしい」そして三つ目は「愛される先輩になってほしい」です。尊敬され、信頼され、愛される先輩とは、自分に厳しく他人にやさしい先輩です。どんなときにでも協力を惜しまない先輩です。どんなときにも話を聞いてくれる先輩です。明日はそんな気持ちで新入生を迎えてほしい。自分が入学した時の緊張感、期待感、不安感を思い出し、どのように新入生を迎えるのか、一人ひとりがしっかりと考えてほしいとお話しさせていただきました。

また入学式では、新入生へ三つお話をしました。一つ目に「毎時間の授業を大切にしてほしい」こととお話ししました。日々の積み上げが3年間で大きな力となってくれます。二つ目に「自分の個性を伸ばしてほしい」、自分の得意なこと、あるいはやってみたいことを見つけ自分の得意とするものを伸ばしてほしい。得意なことを伸ばすことは個性を伸ばすことにもつながります。三つ目は「友人を大切にしてほしい」とお話ししました。学校生活において友人は欠かせない存在です。楽しいときはもちろん。つらいとき、苦しいときに友人がそばにいてくれたらどれだけ心強いことでしょうか。この三つの心がけを胸に青山中学校で様々なことに挑戦し、努力し大きく成長してくれることを願っています。

青山中学校は小規模な学校です。小規模であるからこそ一人一人の生徒にきめ細やかな指導ができると考えております。生徒の自主的な行動を促し、生徒と一緒に青山中学校をよりよい学校にしていきたいと考えています。ご理解と協力のほど、よろしくお願いいたします。

※個人情報保護のため、学校で配布したものと一部異なります。ご了承ください。

